



## 「Eボート大会で中学生ボランティア大活躍！」



5月11日(日)は五月晴れでした。その素晴らしい空の下で「第4回笠松町みなと公園Eボート大会」が開催されました。この大会は川を通じた交流やふれあいの場をつくるのがねらいです。今年も53チームがタイムを競い合いました。

この大会に笠松中学校の20名の生徒が、ボランティアとして参加し、運営に積極的に協力してくれました。ボランティア活動に参加した中学生に聞いたところ、応募者は88名いたそうです。抽選で20名が大会のボランティアに選ばれたのだそうです。4倍を超える応募者があったことには驚かされます。

何人かのボランティアの中学生に、応募をした理由を聞いてみました。

すると次のような答が返ってきました。

- ・僕は友達と一緒に活動したかったから応募しました。でも、友達は抽選に外れたので、僕一人で参加しています。
- ・人に喜んでもらえたり、人の役に立てたりすることがやりたくて応募しました。
- ・Eボートは楽しそうでおもしろそうだから、お手伝いしたいと思いました。



5月とはいえ、炎天下は真夏のように暑いです。その日差しに負けないで、がんばっている中学生の姿を見た誰もが「頼もしいな。」と感じたことでしょう。

中学生はそろいのオレンジTシャツを着て、Eボートの乗り降りの手助けやライフジャケット渡し、パドルの回収などの仕事に取り組んでくれました。おかげで事故もなく無事に大会を終えることができました。中学生の積極的な仕事の姿から「大会に参加した人たちのお役に立ててうれしい。」という気持ちが伝わってきました。感謝！感謝！



幼保、小中、高大学生の皆さんからボランティア体験を募集します。ぜひ、お寄せください。また、町内で「ちょっといい話」を小耳にはさまれましたら、笠松中央公民館担当まで電話、FAX、手紙、意見箱などの方法で、ご連絡いただくと幸いです。記事にさせていただくことがあります。なお、この「ちょっといい話」は笠松町のホームページの「道徳のまち」のバナーをクリックすることによって、第1号から最新号まで閲覧できます。ご活用ください。Tel 388-3926 FAX388-3233